

指定管理施設事業評価票(平成29年度分)

1. 施設所管課 産業環境部 商工 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市小倉山森林公園				
	所在地	日光市所野2848番地				
指定管理者	名称	日光彫り体験教室運営協議会				
	代表者名	山本 政史				
	住所	日光市所野2848番地				
指定期間		平成29年 4月 1日 ～ 平成34年 3月31日			5年間	
選定方法		(公募) ・ 非公募		評価実施年	5年間のうち 1年目	
施設設置目的		市民の貴重な財産である小倉山について、森林の持つ多面的機能性を活かし、市民の憩いの場として、及び観光資源としての有効活用を図るとともに、地場産業である木工芸及び農林業の活性化に努めるため、日光市小倉山森林公園を設置する。				
主な実施事業		1. 日光彫り体験教室運営業務 2. 小倉山森林公園の利用許可に関する業務 3. 小倉山森林公園の使用料の徴収に関する業務 4. 小倉山森林公園の維持管理に関する業務				

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	日光彫体験者数(年間)	人	30,000	29,021								
b	日光彫実演日数	日	333	328								
c	冬期間の県内体験学校数	校	20	6								
d	森林公園内除草回数	回	4	4								
e	森林公園内巡回回数	回	12	13								

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
収入計 A	55,589,522	0	0	0	0
指定管理料	24,710,000				
事業収入 C	30,711,930				
自主事業収入	144,000				
その他	23,592				
支出計 B	54,699,508	0	0	0	0
指定事業費	54,699,508				
内人件費 D	12,618,997				
内外部委託費 E	2,439,026				
自主事業費					
事業収支 A-B	890,014	0	0	0	0
人件費率 D/B	23.07%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	4.46%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	平成29年度から再度指定管理(5年間)を受けた。

サービス改善の状況

日光彫体験教室運営に関しては、各学校の意見などを取り入れサービスをしている。要支援者には要請があれば講師を増員して対応している。
施設が各所傷んでいるので修繕箇所が多数でであり、随時改修等実施している。また、公園内の樹木の手入れ、伐採、枝木りなども多数実施している。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価	
①サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	B	
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	B	
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	A	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	B	
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	A	B	
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	B	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	B	
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	A	B	
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	A	B	
	管理記録	協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A	B	
②サービスの 質の 評価	施設管理	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	B	
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	B	
	利用者対応	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	A	B	
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	B	
	事業運営	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	B	
		緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	A	B	
	維持管理	避難経路が適切に確保されている。	A	B	
		「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	A	B	
	③安定性	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	B
			事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	A	B
利用者対応		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	B	
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	A	B	
事業運営		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	B	
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	B	
維持管理		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	B	
環境配慮		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	A	B	
広報活動		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	A	B	
所見 (成果・課題等)	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	A	B		
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	A	B	
	苦情等対応	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	A	B	
		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	B	
	利用者アンケート	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	B	
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	A	B	
	利用状況	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	B	
		利用実績は、目標水準である。	A	C	
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	A	B	
	安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	B
予算執行		収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	A	B	
経費縮減		経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	B	
収支状況		収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	B	
総括		「経費の収支等」に関する評価【4項目】	A	B	
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)				
	指定管理内では適切に運営している。				
	利用者数は状況に応じて多少の増減はあるものの、概ね目標に近いものとなっている。				
	(所管課評価)				
	体験者からのアンケート調査の満足度も高く、観光施設としての一定の役割は果たしている。しかし、平成28年度及び平成29年度と2期続けて体験者数 が30,000人を割る等の課題があり、学校団体からの再利用だけでなく、市内や県内の新規顧客を増やすために、広報活動等も積極的に行うことが必要で ある。				
前年度総合 評価 ※5段階評価		B	総合評価 ※3段階評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準		A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
		B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
		C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。		
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。		
総括評価	A(優良)	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	A、C以外
	C(要改善)	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	A、C以外
	C(要改善)	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。